

**令和5年度第2回
市民公益活動サポートセンター運営協議会会議録＜公開＞**

日時：令和6年3月21日（木）午後2時00分～3時30分

会場：ワークプラザ2階 会議室

出席委員：山口委員、山城委員、牧野委員、山岡委員、藤崎委員、平川委員、
竹川委員、古賀委員

事務局職員：齋藤所長（自治人権推進課長）、榎副主幹、塚本主査補、
齋藤主任主事

次第

1. 開会
2. 議題
 - ①令和5年度事業報告
 - ②令和6年度事業計画
3. 閉会

【事務局】

「令和5年度第2回市民公益活動サポートセンター運営協議会」を開催する。
会議の開催にあたり、齋藤所長よりご挨拶申し上げます。

[所長挨拶]

【事務局】

本日出席している担当職員を紹介させていただきます。

[事務局紹介]

【事務局】

これより先の議事進行を、佐倉市市民公益活動サポートセンターの管理及び
運営に関する規則（以下「規則」）第14条第1項に基づき、委員長にお願いす
る。

[委員長挨拶]

【委員長】

規則第14条第2項に、「委員の過半数が出席しなければ開くことができない」と定められている。本日、委員2名は都合により欠席されており、本日の出席委員は8名。10名の半数を超えているため、会議が成立していることを報告する。

会議録作成のため、事務局で録音していること、会議録は要約で作成することをご了承願う。

それでは、議事に入る。

議題①「令和5年度事業報告について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料に沿って説明)

【委員長】

令和5年度の活動に関する説明があった。様々な制限がある中、工夫して事業が実施されており、良い方向に進んでいると感じた。

ただいまの説明について、質疑・ご意見がある方は、挙手をお願いします。

【A 委員】

「市民活動発表会2023」に参加した。来年度の会場は志津コミュニティセンターを検討している、との説明があった。京成線方面の方は中央公民館には来づらと思うので、志津もいいとは思いますが、今回の中央公民館も良いと思う。例えば隔年で会場を変える等も検討いただきたい。中央公民館は使えないのか。

【事務局】

中央公民館は、公民館利用者へのサービスがあるので、全館は借りられなかった。また、中央公民館の施設の老朽化があり、音響等も良くないため、他の会場を検討した。

【C 委員】

「発表会」と聞いたので、私たちの団体（ガールスカウト）はステージ上で発表しづらいため、参加しなかった。参加した団体の方から「ブースがあつてよかった」という意見も聞いたが、団体によってはステージでもブースでも発表できない団体もあるので、会場についてはそのあたりも考えてほしい。

また、志津コミュニティセンターは全館を借りても部屋数が少ないと思う。

「中央公民館は他の貸出団体があり全館利用ができない」ということだったが、

他の公民館では、「市の事業があるから貸出できない」と言われることもある。同じ公民館で運用が異なるのか、疑問。

場所については団体にアンケートを取る等、もう少し検討してもいいのでは。

【事務局】

公民館の貸出運用については、各公民館の規模の違いがあるのではないか。

規模の大きい中央公民館は、全館を市の事業で使うのではなく、1つでも空いている部屋があれば、他の団体に貸したいという考えだと思う。一方で、他の比較的規模の小さい公民館では、全館使用しないと1つの事業ができないということがあるため「この日は市の事業があるので貸出できない」ということがあるのではないかと思う。

また、中央公民館には、発表会開催日が近くなり、他の団体の予約が入っていない部屋を追加で貸していただき、控室等として利用できた。決して中央公民館が非協力的ということではない。

会場の広さとしては、今回の発表会で使った（中央公民館の）スペースより志津コミュニティセンターのほうが広い。

どちらの会場がよいかというのは難しいところだが、志津地区ではまだサポートセンターの大きなイベントを実施してことがないので、一度やってみたいという思いがある。今回の発表会のアンケート結果では、志津地区からは2割程度しか来ていない。今までやっていない地区で実施するということには意味があると思っている。

今後はずっと志津地区で、ということではなく、先ほどA委員もおっしゃっていたが、隔年で、という考えもあると思っている。

【C委員】

志津コミュニティセンターのほうが広いという説明に疑問を持ったが、「今回の発表会で使ったスペースと比較して」ということなら理解した。

【事務局】

今後、数回実施することで、大体の参加団体数がわかってくると思うので、その後は、中央公民館でも、使用可能なスペースで会場設営を工夫して開催できるようになるのではないか。

今回の実施状況をみると、一足飛びに従来のフェスタの参加団体数・来場者数に戻るのには難しいと感じた。参加団体が1割くらい増えても対応できる会場を検討し、志津コミュニティセンターを提案させていただいた。

【F 委員】

(志津地区と佐倉地区で) 隔年開催も良いのではと思った。(アンケートで) 「若い人が少ない」という意見もあったが、志津コミュニティセンターには北志津児童センターが併設されているので、そこに来た若い方が寄ってくれることもあるのでは。

また、高校には「ボランティア部」等もあると思うので、受付等で協力してもらおうとよいのでは。

発表会の様子を YouTube (サポセンチャンネル) で見た。当日詳しく見られなかった団体が紹介されていて、わかりやすいと思った。YouTube の映像を夢咲くら館等で流すといいのでは。

【C 委員】

北志津児童センターの小さな園庭等も会場スペースとして使えれば、子育て団体等に利用いただけるのでは。

【D 委員】

和田ふるさと館でもぜひ実施してほしい。和田ふるさと館で実施されたら、和田地区の住民は「こんなこともやっているのか」と思うに違いない。雰囲気だけでもわかるイベントを和田にも誘致していただきたい。

【委員長】

ステージ発表とブース発表が同じ空間であったため、音の大きなステージ発表の時は、ブース側では会話ができないくらいだった。限られたスペースでの開催は厳しいと感じた。

太鼓発表は和田ふるさと館がピッタリじゃないかと思った。

【D 委員】

ものによって分離して開催してもよいのでは。和田では苦情が出ることもないと思う。

発表会とは別件で、市民活動ポスター展を初めて和田ふるさと館で実施していただいた。私も見に行った。どのくらい観覧者がいたかわからないが、良い試みだったと思う。

【委員長】

続いて「令和6年度事業計画」について事務局からご説明をお願いする。

【事務局】

(資料に沿って説明)

【委員長】

ただいまの説明について、質疑・ご意見がある方は、挙手をお願いします。

【B 委員】

志津コミュニティセンターに行った際に、サポートセンターの情報誌を手にとっている方がいた。こういった情報発信も大事だと思った。

【事務局】

先ほどから情報サイトや YouTube 等について説明しているが、紙媒体での発信を軽視しているわけではない。媒体の過渡期であり、電子媒体だけでなく、ポスター展や団体紹介冊子の発行等の紙媒体発信も引き続き実施していく。「こういうほうが見やすい」「こういうところに置くと良い」などご意見いただけるとありがたい。

【E 委員】

来年度の発表会については、本日様々な意見が出たので、会場等も含めて十分に検討していただき、参加団体にも理解が得られるよう準備していただければと思う。

ボランティアデビュー講座は、今回高校生の参加が3人だったが、次年度の講座の対象者はどのようにするのか。

【事務局】

今回は対象者を高校生等に限定して実施したが、PR が足りなかったという反省がある。次回は、年齢層を幅広くとり、高校生以上の方が参加できる形としていきたい。

【E 委員】

最近佐倉市が市内の公立高校と協定を結んだと聞いた。その繋がりから対象者を集めてもよいのでは。

市民活動発表会での飲食出店に関する意見が出ているが、保健所の許可が厳しい。キッチンカーなども検討するといいいのでは。

また、サポセンチャンネルはまだ登録していなかったなので、早速登録したい。

【事務局】

市内高校との協定を基に交流を深めていきたいと思っており、学生さんに声をかけていきたい。そのために、高校生が来たいと思える企画、ボランティアに関心を持ってもらえるような企画を実施していきたい。

また、高校生に限らず、大学生をはじめボランティアに関心のある方に対象を広げ、今回の3人を大きく上回る参加をいただけるよう検討したい。

発表会の飲食に関しては、会場周辺には飲食できるお店も少ないことから、ご提案いただいたキッチンカーも含めて検討していきたい。

【B 委員】

志津公民館の「しづ市民大学」に携わっている。毎年100人近くの学生がいる。卒業生の皆さんもボランティアに興味を持たれている。ボランティア講座については、対象を高校生に限らず、高齢者の方たちも学べる場にもしていただくとよいのでは。

【事務局】

市民協働や地域まちづくり事業を含めて担い手不足が課題である。生涯学習に関わっている方とボランティアは親和性が高いと思っているので、志津市民大学や根郷寿大学、市民カレッジ等にこちらから伺って、お話を聞いていただき、より多くの方に声掛けしていきたい。ボランティア講座については、高校生と限定せずにやっていきたい。

【D 委員】

和田地区にボランティアは1団体しか登録されていない。これからボランティアを養成していかないと有事の際に困るので何とか増やしていきたい。公民館とも連携して、ボランティア講座等を実施してほしい。

【事務局】

我々の発信が不足している地区や、声が届いていない地区もあると思う。こうした地区に対して積極的に情報発信することや、和田ふるさと館等を会場として事業を実施することも検討していきたい。

今年度、和田地区ではポスター展を早速実施できたので、今後も検討していきたい。実現した際には委員にも周知などご協力いただきたい。

【F 委員】

和田小学校のイベント等にも行ったことがあるが、多くの方が協力されてい

た。例えば神社の管理など既に活動されている方たちがたくさんいるのでは。そういう方たちがサポセンに登録すれば、団体数が増えるのではないか。

志津の方に住んでいる人で、和田地区等で色々な体験をしたいという方もいると思うので、そういったきっかけがあったら良いと思う。

【委員長】

他に意見等が無ければ、本日の会議はこれで終了する。

なお、今回の会議の議事録の署名人につきましては、委員長の私の他、副委員長にお願いする。

本日委員からいただいた貴重なご意見や情報を参考に、事務局のほうには良い計画を立てていただきたい。

【事務局】

以上を持ちまして本日の会議を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

令和6年4月8日

議事録署名人

委員長 山岡 みち代

副委員長 牧野 ゆりか